

組 番 名前（

注意

- ・ この予想問題には教科書が必要です。ご自身で準備してください
- ・ 解答は問題の指示通りに答えなさい。
- ・ 答えを記述する問題については、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- ・ 解答は解答用紙にしっかりと記入しなさい。
- ・ 薄い字、小さすぎる字、読めない字は採点対象になりません。
- ・ 漢字で習った語句は感じで答えること。
- ・ 文字数を数えるとき、「」「。」「かぎっこ（）拗音（「ゃ」「っ」等）も数に含めます。
- ・ 問題を声に出して読むではいけません。
- ・ これは予想問題です。これらの問題が実際の試験で出題されることを保証するものではありません。
- ・ 質問等がありましたら、作成委員にお知らせください

問一 漢字に関する次の問題に答えなさい。

1 次の傍線の漢字をひらがなに直しなさい。

(送り仮名も書くこと)

- ① 関根優鶴先生の問題。(中瀬中学校の2―Bの担任とする)
- ② 人権を侵す。
- ③ 鋳物工場をつくる。
- ④ 果汁百パーセントのジュース。
- ⑤ 煎り豆をごちそうする。
- ⑥ 薪を拾う。
- ⑦ 網を引く

2 次の傍線のカタカナを漢字に直しなさい。

(送り仮名も書くこと)(知各一点)

- ① 文章がつたない。
- ② 土砂のたいせき。
- ③ 委員会とはかる。
- ④ もが生える。
- ⑤ うるしを塗る。
- ⑥ きずあとが残る。
- ⑦ 裏切りをしさする。

問二 文法に関する次の各問いに答えなさい。

1 次の傍線の助詞の種類を後から選り記号で答えなさい。

- ア 格助詞
- イ 副助詞
- ウ 接続助詞
- エ 終助詞

- (1) これはひまわりの種かしら。
- (2) 廊下を走らないでください。
- (3) 木の実を拾って山を下りました。
- (4) これくらい余裕をもって出れば遅れないだろう。

2 次の傍線の助詞が後のどの助詞と同じ働きをしているか記号で答えなさい。

- ア ても
- イ なり
- ウ のに
- エ で
- オ つつ
- カ し

- (1) 素直になればよいものを意地を張っている。
- (2) ニュースを見ることによって世の中がよくわかる。
- (3) 考え事をしながら歩いていた。
- (4) サッカーも得意だけれどもテニスも得意だ。

3 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私の趣味は読書だ。本からは多くの知識を得①られるし、豊かな想像力を育むこともできるだろ②う。そして何より、本を読むことは純粋に楽しい③である。

- (1) 傍線①②の助動詞の意味を書きなさい。
- (2) 傍線③と同じ品詞の語を記号で答えなさい。

- ア とても立派で素晴らしい人だ。
- イ 教室でおしゃべりするのは楽しい。
- ウ 今日は日曜日で明日は月曜日だ。
- エ 元氣そうで何よりだ。

問三 百人一首に関するあとの各問いに答えなさい。

1 以下の下の句に合う上の句を下欄から選り記号で答えなさい。

- (1) よに逢坂の 関は許さじ
- (2) 山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる
- (3) 雲隠れにし 夜半の月かな
- (4) 流れもあへぬ 紅葉なりけり
- (5) 乙女の姿 しばしとどめむ

ア 恨みわが ほさぬ袖だに あるものを イ 夜をこめて 鳥の空音は はかるとも ウ めぐり逢いて 見しやそれとも 分かぬまに エ 山里は 冬ぞさびしき まさりける オ 住の江の 岸による波 よるさへや	カ 世の中よ 道こそなけれ 思ひいる キ 天つ風 雲のかよひ路 吹きとちよ ク 心にも あらで憂き世に ながらへば ケ 山川に 風のかけたる しがらみは コ 世の中は 常にもがもな 渚漕ぐ
--	--

2 札を無作為に並べて取った枚数を個人戦で競う対戦形式を何というか。

問四 書写に関する次の問いに答えなさい。

1 ア「前」、イ「若」、ウ「目」、エ「使」、オ「全」の漢字は、行書ではつぎのようにかくことができる。楷書と筆順が違うものはどれか。一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 前 イ 若 ウ 目 エ 使 オ 全

2 行書体の特徴を一つ上げなさい

問五 漢詩の風景に関する次の各問いに答えなさい。(教科書が必要です)

1 次の漢文の書き下し文を訓読文に書き直しなさい。

(1) 勿_下以_二善小_一而不_{上レ}為。

(2) 百聞不_レ如_二一見_一。

(3) 知_二我之不_レ遇_二明君_一。

2 (それぞれの漢詩の説明文は省略)本文は教科書のP108～P109を読んでください

春曉

〈訓読文〉

①春眠曉を覺えず ②処々啼鳥を聞く 夜来風雨の声

花落つること知る多少

〈白文〉

春眠不覺曉 □□□□□ 夜来風雨声 花落知多少

(1)この漢詩の種類を答えなさい。

(2)漢詩の構成法について以下の問いに答えなさい。

①この漢詩の転句で雰囲気を一変させている語句を四字で書き抜きなさい。
②この構成法についての説明を二十字程度で答えなさい。

(3)②処々啼鳥を聞くの白文を書きなさい。

絶句

〈訓読文〉

江は碧にして鳥は逾よ白く 山は青くして花は然えんと欲す 今春看す又過ぐ
何れの日か是れ帰年ならん

〈白文〉

江碧鳥愈白 山青花欲然 今春看又過 何日是帰年

(1)この漢詩で使われている表現技法を答えなさい。

(2)傍線部から読み取れる作者の心情を選び記号で答えなさい。

ア 孤立感

イ 罪悪感

ウ 怨嗟感

エ 無力感

(3)絶句の作者杜甫何と呼ばれているか2字で答えなさい。

(4)作者の説明を完成させなさい。

杜甫は□□□□□を送るうえで△(×)を詠った。

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る

〈訓読文〉

①故人西の方黄鶴楼を辞し 煙花三月揚州に下る 孤帆の遠影碧空に尽き ②
唯だ見る長江の天際に流るるを

〈白文〉

故人西辞黄鹤楼 烟花三月下扬州 孤帆远影碧空尽 唯见长江天际流

(1) この漢詩の作者(①)と形式(②)を答えなさい。また作風について空欄に文字を考えて埋めなさい。

(①)は△(×n)詩を詠った。

(2) 傍線①について以下の問いに答えなさい。

① この時代の故人の意味を答えなさい。

② ここでの故人は誰のことをさしているか答えなさい。

(3) この詩の後半では何について捉えられているか本文中から八字で書き抜きなさい。

(4) 傍線②について以下の問いに答えなさい。

① ここで用いられている表現技法を答えなさい。

② 傍線②によってどうなると本文で言われているか書きなさい。

春望

〈訓読文〉

国破れて山河在り① 城春にして草木深し 時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす 烽火三月に連なり 家書万金に抵る②
白頭搔けば更に短く 渾て簪に勝へざらんと欲す③

〈白文〉

国破山河在 城春草木深 感時花濺淚 恨別鳥驚心 烽火連三月 家書抵万金
白頭搔更短 渾欲不勝簪

(1) この漢詩で対句になっている句を全て答えなさい。

(2) 傍線部①で何と何を対比させているか空欄に文字を埋めなさい。

儚い□□と悠久の△△。

(3) なぜ家書万金に抵る②のか理由を書きなさい。

(4) 傍線部③にはどのような思いが込められているか
「思い。」につながるように書きなさい。

(5) 次の漢詩の作者はどの漢詩を書いた人か作風を考えて記号で答えなさい。

花間一壺の酒 独り酌んで相親しむもの無し

杯を挙げて名月を邀え 影に対して三人と成る

月既に飲むを解せず 影徒らに我が身に随う

暫く月と影とを伴うて 楽須らく春に及ぶべし

ア 春望 イ 春曉 ウ 黄鹤楼にて孟浩然の広陵に之くを送る エ 絶句

問六 「徒然草」を読み、あとの各問いに答えなさい。

1 つれづれなるまゝに a 日くらし、硯におかひて、b 心に移りゆくよしなし事を、

①そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

(1) 徒然草が作られた時代を答えなさい。

(2) 日本三大随筆を徒然草、枕草子を除いて書きなさい。

(3) ①そこはかとなく書きつくればについて以下の問いに答えなさい。

① 何を書きつくるのか原文から書き抜きなさい。

② 傍線①のようにするとどのような気持ちになるのか現代語で書きなさい。

(4) 傍線a、bなどからどのような作風が読み取れるか三字で書きなさい。

2 仁和寺にある法師、年寄るまで①いはしみずを拝まざりければ、心うく覚えて、ある時思ひ立ちて、たゞひとり、徒歩より詣でけり。極楽寺・②かうらなどを
拝みて、かばかりと心得て歸りにけり。

さて、かたへの人に③あひて、「年比思ひつること、果し侍りぬ。聞きしにも過ぎて
尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事 a がありけん、
A ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず」と c ぞ言ひ
ける。

少しのことにも、先達はあらまほしき事なり。

(1) 傍線①②③を現代仮名遣いに直して書きなさい。

(2) Aゆかしかりしかどとあるが法師はなぜそう思ったのか原文から二十一字で抜き出して書きなさい。

(3) 傍線a～cの中で疑問を強調している係り結びはどれか記号で答えなさい。またそれが強調した疑問について現代語で簡潔に書きなさい。

(4) この話は庶民にとって何が面白いのかア～エから選り記号で答えなさい。

ア 年老いた法師がわざわざ徒歩で参詣したから。

イ 道が分からないのに誰にも聞かなかったから。

ウ 偉い法師が道を間違えたから。

エ 軽い気分で石清水八幡宮へ参詣したから。

3 高名の木登りといひし男、人を掟て、高き木に登せて、梢を切らせしに、いと危く見えしほどは言ふ事もなくて、降る時に、軒長ばかりに成りて、「あやまちすな。心して降りよ」と言葉をかけ侍りしを、「かばかりになりては、飛び降るも降りなん。如何にかく言ふぞ」と申し侍りしかば、「その事に候ふ。目くるめき、枝危きほどは、己れが恐れ侍れば、申さず。あやまちは、安き所に成りて、必ず仕る事に候ふ」と言ふ。

あやしき下臆なれども、聖人の戒めにかなへり。鞠も、難き所を蹴出して後、安く思へば必ず落つと侍るやらん。

(1) 兼好法師は高名の木登りに何を聞いたのか現代語で考えて書きなさい。

(2) この段に書かれたことを四字熟語で表すとすると何がふさわしいか書きなさい。

4 徒然草を書いた兼好法師はなぜ地位を捨てて隠者になったか三つの本文から考え、百字以上百五十字以内で書きなさい。(隠者：俗世との交わりを避けて暮らすこと)(四段落構成で描き、一段落に序段、二段落に仁和寺、三段落に高菜の木登り、四段落にまとめを書くこと)

問七 「モアイは語る」を読み、あとの各問いに答えなさい。(教科書が必要です)

(本文省略)本文は教科書のP124～P129を読んでください

(1) モアイについて著者が疑問を投げかけているがこの内容について4つ簡潔に書きなさい。

(2) モアイを作ったのが誰かを裏付ける証拠を2つ書き抜きなさい。

(3) 大半のモアイがラノ・ララクで作られた理由を書きなさい。

(4) 著者がモアイの運び方に疑問を持ったのはなぜかア～エから選り記号で答えなさい。

ア 石ころだらけの火山島の地面で運ぶのは困難だから。

イ 陸の反対側に森があったから。

ウ 現在の島に木がないから。

エ ラノ・ララクから海岸まで距離があるから。

(5) 「私たちの研究」から何が言えるかすべて書きなさい。

(6) 七世紀頃からヤシの花粉の量が減少していった理由として誤った答えを二つ記号で答えなさい。

アイネ科やタデ科などの草が繁殖したから。

イモアイの製造に使われたから。

ウ 人口が増加し部族間で抗争が起きたため。

エ 農耕地として利用したため。

(7) 著者は森をどのようなものと捉えているか文章中から八字で抜きなさい。

(8) 地球も同じであるところがあるがどのような点が共通しているか答えなさい。

(9) イースター島が飢餓地獄に陥った根本的理由を書きなさい。

(10) なぜイースター島の部族間の抗争が起こったのか答えなさい。

(11) 次の文章は「モアイは語るー地球の未来」問題提起に対する答えと根拠の授業後のタケハル君とマサキ君の会話です。これをみて以下の問いに答えなさい。

マサキ君…今日のさ、「(1)」の根拠ってどこに書いてあるの？

タケハル君…えーと、あつ十四段落目にまるまる乗ってんじゃない。

マサキ君…②これコンギョなの？

タケハル君…根拠な、まあでも確かにこの文章って根拠と結論があやふやなところがあるよな…

マサキ君…今のやつもそうでしょ？

タケハル君…うん、他に俺が気になったのは③誰がモアイを作ったのかかな。だって
さポリネシア人が生活していたという足取りはあくまで五世紀のも
のでモアイが作られたのは十一世紀、六世紀もたっているんだから

(4)根拠はどこにもないし。

マサキ君…六世紀の間にポリネシア人がモアイ像作ることを突然思いついたら怖
いわ。

タケハル君…ここオセアニア諸島じゃん？宗主国の誰かが持ち込んだとか？

マサキ君…いやオセアニア諸島の植民地化は十九世紀だから違うでしょ。

タケハル君…じゃあちよくら時越えてイギリス人ころに(コロー)のせて運ぶか。い
やまあでもモアイにも愛嬌はあるからな…何があっても不思議じゃね
えな…

二人の間に気まずい、冷たい一陣の冬の風が吹く

(1) (1)に当てはまる文を一部抜き出さない。

(2) 傍線部②とあるがマサキ君はなぜ根拠だと思わなかったのか他の問題提起の
根拠と比較しながら書きなさい。

(3) 傍線部③とあるがタケハル君がこの根拠についてどう推察したか(4)に当て
はまるように書きなさい。